

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)飛鳥管理(株)相模原プロジェクト	階数	地上 2F
建設地	神奈川県相模原市緑区長竹字金原295-1外35番	構造	S造
用途地域	防火地域指定なし	平均居住人員	130 人
気候区分		年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2015年4月15日
敷地面積	21,494 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社設備技研
建築面積	5,725 m <sup>2</sup>	確認日	2015年5月3日
延床面積	6,689 m <sup>2</sup>	確認者	田中建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.0</b> ★★★★★</p> <p>S: A: B+: B-: C:</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>30% 60% 80% 100% 100%超:</p> <p>標準計算</p> <p>建設 修繕・更新 解体 運用 オンサイト オフサイト</p> <p>参照値 100%</p> <p>建築物の取組み 98%</p> <p>上記+ 以外の 98%</p> <p>上記+ 98%</p> <p>0 46 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.5</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.0</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。</p>	<p>その他</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>外壁、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に配慮している。化学汚染物質の使用に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。防犯に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>高効率エアコン、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水器具を採用し、水資源保護に配慮している。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>周囲の緑化に努め、周辺に対して影響を抑制する計画となっている。駐車場の整備、出入り口への配慮により周辺に交通渋滞が起こらないよう配慮している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される